公益社団法人日本包装技術協会

事 業 の 一 覧

<table>
<tr><th colspan="2">事 業 区 分</th><th>事　業　の　内　容</th></tr>
<tr><td rowspan="5">公益目的事業</td><td rowspan="3">公益1</td><td>＜講座、セミナー、育成事業＞
包装に関する知識の習得と技術の向上を図ることを目的とする事業
主な具体例：包装専士講座、包装管理士講座、セミナー、コース、研究会、フォーラム、Webフォーラム、研究大会、懇話会
＊支部で行っている事業はすべてここに属し、公１として扱う</td></tr>
<tr><td>＜体験活動等事業＞
包装に関する体験活動を通して知識の習得と普及を図ることを目的とする事業
主な具体例：海外視察団、見学会</td></tr>
<tr><td>＜表彰、コンクール事業＞
包装に関連した技術やデザインの啓発を目的として行われる事業で、入賞作品はすべて展示会において一般公開される
主な具体例：パッケージングコンテスト、木下賞</td></tr>
<tr><td>公益2</td><td>＜展示会、ショー事業＞
包装の最新情報を内外の関連分野に対して啓発、普及を行うことを目的とする事業
主な具体例：東京国際包装展、暮らしの包装商品展</td></tr>
<tr><td>公益3</td><td>＜調査、資料収集事業＞
委託による調査及び資料収集が中心となっており、結果は報告書や規格となって一般に公表される
主な具体例：ＩＳＯに関する活動、ＪＩＳに関する活動、統計</td></tr>
<tr><td>収益事業</td><td>収益1</td><td>＜出版事業＞
毎月刊行されている当会の機関誌の出版に関する事業。雑誌は会員には無料、一般には有料で配布されている。その他、非定期的に包装に関する単行本等を刊行
主な具体例：機関誌「包装技術」、包装技術便覧</td></tr>
</table>

＊その他行事：総会、新年会、交流会等

第１号議案

公益社団法人日本包装技術協会

２０２２年度事業報告

本　　部

2022 年 4 月 1 日～2023 年 3 月 31 日

当会本部の各種事業は新型コロナウイルスの影響を受けたものの、オンラインを活用することで年度活動方針および事業計画に沿って、感染拡大防止に努めながら実施した。

包装人材育成事業の柱である包装管理士講座は、４０４名の受講生を得て対面とオンラインで開講し、今期（第５７期）は４０１名が合格し包装管理士の称号が授与された。

これにより、第１回の開催以来５７年間で包装管理士の有資格者は１５，５５５名となった。情報提供事業の柱である月例研究会は、昨年よりオンラインを活用した新たな形態で名称を JPI WEB フォーラムに変更し、本年度も年間計画に沿って情報と交流の機会を会員に提供した。

なお、本年度の包装専士講座（旧称：包装アカデミー）は、新型コロナウイルスの緊急事態宣言と社会活動全般への影響を鑑み、各コース（全４コース）上限１０名と人数を制限し、参加者の健康および安全を確保しつつ、従来の教育の質を保つために対面による講義を行い、今期は越年受講者を含む４１名が合格し、包装専士の称号を授与された。

本年度は、TOKYO PACK 2022（2022 東京国際包装展）の開催年であった。長引くコロナ禍の影響により半導体等の供給が大きく停滞し、このため主に包装機械メーカーからの出展が大きく減少した。本展は従来、東京ビッグサイト東展示棟（１ホール～６ホール）を使用し開催していたが、出展社減少により今回は東展示棟（１～３・６ホール）と開催規模を縮小し、新型コロナウイルス感染拡大防止のためにチェックリストを作成し、感染リスクを最小限にとどめながら開催した。会期３日間にのべ１６万人を超える来場者を迎え開催された TOKYO PACK 2022（2022 東京国際包装展）が、包装産業の更なる発展に寄与できたものと確信している。

また、本年度は隔年で開催される暮らしの包装商品展の準備年にあたる。包装が果たす役割や重要性について、理解を深めていただくことを目的とする消費者向けの普及啓発事業として、実り多き展示会となるよう開催に向けて準備を進めていく。

第１　事　　業

１．研修、育成事業、交流事業、普及啓発事業（公益目的事業１）

＜研修、育成事業＞

当会本部の各種事業は新型コロナウイルスの影響を受けたものの、オンラインの活用や感染予防対策を講じることにより年度活動方針および事業計画に沿って実施した。包装人材育成事業の柱である包装管理士講座は４０４名の受講者を得て対面とオンラインで開講し、今期（第５７期）は４０１名が合格し包装管理士の称号が授与された。これにより第１回の開講以来５７年間で包装管理士の有資格者は１５，５５５名となった。

本年度包装専士講座は、新型コロナウイルスの感染防止対策を実施の上、各コース（全４コース）１０名を目安とし総数４０名までに制限し、参加者の健康および安全を確保しつつ、従来の教育の質を保つため対面による授業を行い、今期は越年受講者を含む４１名が合格し包装専士の称号を授与された。

情報提供事業の柱であるJPI WEBフォーラムは本支部協力のもと、年間計画に沿って定期的に情報と交流の機会を会員に提供した。

１）第５７期包装管理士講座

新型コロナウイルスの感染拡大防止対策として、一部カリキュラムを変更し実施した。

期間：6月1日（水） 開講 ～ 9月27日（火） 終講

合格者：受講者４０４名（合格者４０１名）※昨年度継続受講者含める

合格者内訳：東京募集 １８３名 大阪募集 ９５名 名古屋募集 ６９名

福岡募集 ２８名 仙台募集 １０名 札幌募集 １６名

〈 輸送包装コース１７０名・生活者包装コース２３１名 〉

以上の結果、５７期を通して包装管理士有資格者は、１５，５５５名となった。

２）2022年度包装専士講座

2022年2月1日（火）～4月28日（木）で受講生の募集をし、2022年6月9日（木）～2023年3月6日（月）の期間にて、例年通り４コース（輸送包装、食品包装、包装材料、医薬品包装）で開講した。カリキュラムはほぼ月１回開講する一般講義のほか、実地研修、事例研究、包装専士論文の発表で構成されている。本講座で培われる講師と受験生、受験生同士の“情報ネットワーク”は、本講座を終了した者だけが得られる財産と考え、リモート講座ではなく、対面講座を基本に行っており、2022年度は、各コース上限１０名に限り、健康・安全対策を十分施した上で開講した。

2022年度の受講３９名のコース別内訳は次のとおりである。

輸送包装コース･･･ ６名 食品包装コース･･･ １１名

包装材料コース･･１２名 医薬品包装コース･･･１０名 最終合格者 ４１名(越年受講含む)

３）全日本包装技術研究大会

包装に関する工夫の実例や研究開発の成果を広く発表すると共に、同業・異種業界の関係者との相互の交流を深めることを目的に感染予防対策を講じ対面で開催した。

催事名：第６０回全日本包装技術研究大会（札幌大会）

部 会：２部会（生活者包装１８件、輸送包装２０件）

会 期：１１月１７日（木）～１８日（金）

場 所：ニューオータニイン札幌

参加数：２２１名

＜特別講演＞

「ジョブ・エナジーの育て方」

石屋製菓㈱ 取締役相談役 吉田 宏 氏

4）研究会、講習会、セミナー、シンポジウム等の研修活動

（1）JPI WEB フォーラム（本項目には支部主催のものも記載しています）

一昨年まで無料講習会として毎月開催していた対面式による「研究会」を、オンラインで運営することにより、本年度については JPI WEB フォーラムと名称を変更し運営をしている。オンラインでの講演会になったことで全国の会員の方々への情報発信が可能となった。また、本部だけの催しだけでなく、支部で開催していた無料講演会も JPI WEB フォーラムとして運営している。

① 4月 JPI WEB フォーラム

4月20日(水)　本部主催　参加者 195 名

テーマ：「Loop 向け商品の開発ストーリー」

講　師：㈱ロッテ　ESG 推進部　サステナビリティ推進課　課長　飯田　智晴　氏

講　師：㈱ロッテ　中央研究所　パッケージ研究課　主査　藤原　普夫　氏

4月21日(木)　本部主催　参加者 170 名

テーマ：「軟包材の環境負荷低減～水性グラビア印刷による環境負荷低減の効果と課題～」

講　師：富士特殊紙業㈱　営業本部　CS 室　課長　鈴木　貴史　氏

② 5月 JPI WEB フォーラム

5月30日(月)　本部主催　参加者 305 名

テーマ：「食品用器具・容器包装のポジティブリスト制度について」
「食品衛生法のポジティブリスト制度と食品接触材料安全センターの活動について」

講　師：厚生労働省　医薬・生活衛生局　食品基準審査課　課長補佐　今西　保　氏

講　師：一般財団法人化学研究評価機構　食品接触材料安全センター　企画調整室長　梶原　健世　氏

5月31日(火)　本部主催　参加者 334 名

テーマ：「プラ資源循環促進法と循環経済に向けた政策について」

講　師：経済産業省 産業技術環境局 資源循環経済課 総括補佐　吉川　泰弘　氏

③ 6月 JPI WEB フォーラム

6月24日(金)　本部主催　参加者 220 名

テーマ：「食品包装における超音波加熱シールの凄さ」

講　師：㈱フジキカイ　取締役　営業本部長　宮田　敏弘　氏

④ 7月 JPI WEB フォーラム

7月14日(木)　本部主催　参加者 206 名

テーマ：「ISCC plus によるサプライチェーンマネジメントのご紹介」

講　師：SGS ジャパン㈱　認証・ビジネスソリューションサービス　山本　茂和　氏

⑤ 8月 JPI WEB フォーラム

8月23日(火)　本部主催　参加者 183 名

テーマ：「通販パッケージの変化」

講　師：㈱クラウン・パッケージ　社長付広報室　室長　八木野　徹　氏

8月24日(水)　本部主催　参加者144名

テーマ：「フィルム包装による青果物の鮮度保持～MA包装～」

講　師：㈱精工　営業本部　営業企画部　鮮度保持研究室　主任　尾川　景子　氏

⑥ 9月JPI WEBフォーラム

9月21日(水)　本部主催　参加者175名

テーマ：「デザイナーでもアーティストでもないエンジニアが語る
デザイン思考とアート思考～人間中心設計からの提案」

講　師：尾崎技術士事務所　尾崎　尚武　氏

9月22日(木)　本部主催　参加者300名

テーマ：「容器包装リサイクルの現状と課題」

講　師：公益財団法人日本容器包装リサイクル協会　代表理事専務　西山　純生　氏

講　師：公益財団法人日本容器包装リサイクル協会
プラスチック容器事業部　課長　清水　健太郎　氏

9月30日(金)　本部主催　参加者170名

テーマ：食品包装関連製品のご紹介～ガスバリア性接着剤「マクシーブ®」について

講　師：三菱ガス化学㈱　平塚研究所・主任研究員　河野　和起　氏

講　師：三菱ガス化学㈱　平塚研究所　小林　菜穂子　氏

⑦ 10月JPI WEBフォーラム

10月24日(月)　本部主催　参加者176名

テーマ：「フィルムボトル開発事例のご紹介」

講　師：花王㈱　包装技術研究所　グループリーダー　倉賀野　彰　氏

10月25日(火)　本部主催　参加者281名

テーマ：「ポリプロピレン樹脂の基礎と技術動向」

テーマ：「バイオマス樹脂、マスバランス方式の概論」

講　師：㈱プライムポリマー　産包材研究所　主幹研究員　犬飼　章博　氏

講　師：三井化学㈱　グリーンケミカル事業推進室　室長付　池永　裕一　氏

⑧ 11月JPI WEBフォーラム

11月7日(月)　東北支部主催　参加者120名

２０２２日本パッケージングコンテスト入賞作品開発事例発表

発表①

テーマ：「魅せるパッケージで脱プラ達成『クロスでパック』」

講　師：㈱クラウン・パッケージ　営業開発部　企画開発課　課長　清水　美孝　氏

発表②

テーマ：「リチウムイオン電池１００％リサイクルEPSと極限収納

講　師：SBS東芝ロジスティクス㈱　物流改革推進部
包装・設備技術担当　広川　秀美　氏

11月10日(木)　西日本支部主催　参加者204名

テーマ：コンビニ中食容器包装の環境対応

講　師：三菱商事パッケージング㈱　営業本部
パッケージング・テクニカル・アドバイザー　佐藤　久朗　氏

11 月 21 日(月)　西日本支部主催　参加者 102 名

テーマ：個装箱のコンテナ輸送効率シミュレーション開発の取り組み

講　師：セイコーエプソン㈱　プリンティングソリューションズ事業本部

P 商業・産業企画設計部　服部　和俊　氏

11 月 29 日(火)　関西支部主催　参加者 178 名

テーマ：パッケージデザインにおける感性評価

講　師：千葉工業大学　創造工学部デザイン科学科 教授　佐藤　弘喜　氏

11 月 30 日(水)　中部支部主催　参加者 153 名

テーマ：現状の振動試験の課題と解決に向けて

講　師：IMV㈱　技術推進統括本部 R&Dセンター部

コアプロダクト開発課 係長　萬井　公一　氏

⑨ 12月JPI WEBフォーラム

12月 6日(火)　西日本支部主催　参加者122名

テーマ：デジタルプリントを起点としたビジネス展開について

講　師：凸版印刷㈱　九州事業部　企画販促本部　販売促進部

生活系販促チーム　南　浩紀　氏

12 月 14 日(水)　関西支部主催　参加者 170 名

テーマ：製品を安全に輸送するための輸送環境調査

講　師：神栄テクノロジー㈱　システム事業推進部　部長　川口　和晃　氏

12 月 16 日(金)　中部支部主催　参加者 129 名

テーマ：ＥＣ向けパッケージ　エコ・クイック・ボックスの開発について

講　師：日本トーカンパッケージ㈱　包装開発センター紙器包装技術グループ

チームリーダー　今井　恵一　氏

12 月 21 日(水)　本部主催　参加者 248 名

テーマ：新規包装材開発　紙発泡材

講　師：ソニーグループ㈱　ｺｰﾎﾟﾚｰﾄﾃｸﾉﾛｼﾞｰ戦略部門　技CﾒｶGp　田部井　有子　氏

12 月 22 日(木)　本部主催　参加者 146 名

テーマ：発泡スチロールのリサイクル事情について

講　師：発泡スチロール協会　専務理事　山田　一己　氏

⑩ 1 月 JPI WEB フォーラム

1 月 24 日(火)　本部主催　参加者 141 名

テーマ：サステナビリティ×新規事業　共創上手を目指すアサヒユウアスの挑戦

講　師：アサヒユウアス㈱　たのしさユニット　ユニットリーダー　古原　徹　氏

1 月 25 日(水)　関西支部主催　参加者 300 名

テーマ：容器包装における海外の最新動向

講　師：㈱パッケージング・ストラテジー・ジャパン　取締役社長　森　泰正　氏

⑪ 2月 JPI WEB フォーラム

2月6日(月) 中部支部主催 参加者 225 名

テーマ：紙パウダーを主原料にしたプラスチック代替素材「MAPKA」の特徴と活用事例、今後の展開について

講 師：㈱環境経営総合研究所 代表取締役 松下 敬通 氏

2月9日(木) 東北支部主催 参加者 154 名

講演①

テーマ：落下高さに及ぼす貨物の混在様式の影響

講 師：石塚包装設計・開発事務所 代表 石塚 義夫 氏

講演②

テーマ：青果物の鮮度保持最新技術

講 師：三菱ガス化学㈱ 東京研究所・主任研究員 杉本 顕 氏

2月21日(火) 関西支部主催 参加者 239 名

テーマ：セブン＆アイグループの SDGs への取り組み「GREEN CHALLENGE 2050」達成に向けて

講 師：㈱セブン＆アイ・ホールディングス 執行役員 経営推進本部 サステナビリティ推進部 シニアオフィサー 釣流 まゆみ 氏

⑫ 3月 JPI WEB フォーラム

3月22日(水) 本部主催 参加者 46 名

テーマ：電動アクチュエーターによる CO2 削減と生産性向上について

講 師：㈱ アイエイアイ 営業部 東京営業所 所長 平岡 政則 氏

3月23日(木) 中部支部主催 参加者 85 名

テーマ：産官学の連携による輸出実証試験への取り組み

講 師：京都大学 大学院農学研究科附属農場・准教授 中野 龍平 氏

3月29日(水) 本部主催 参加者 61 名

テーマ：協働ロボット、AMR(自律走行搬送ロボット)を導入する際のポイント、事例紹介

講 師：㈱バイナス 第２営業部(ロボットアプリケーション) 担当 取締役 下間 篤 氏

（２）県別研究会

本年度に関しては、新型コロナウイルスの影響により県をまたいでの移動に制限がかかる可能性があったことから、静岡県包装研究会、新潟県包装研究会ともに運営を中止した。

（３）包装情報ステーション

JPI WEB フォーラムに組み入れて開催。

（４）コース

①第 28 回包装新人研修コース

4月7日(木)・8日(金) JPI 会議室（対面） 参加者 25 名

②第 55 回包装基礎コース

5 月 12 日(木)・13 日(金)・18 日(水)・19 日(木)　参加者 42 名

③第 39 回フレキシブルパッケージコース

2 月 22 日(水)　JPI 会議室（対面）　参加者 39 名

④第 13 回食品包装コース　オンライン開催　参加者 29 名

2 月 7 日(火)・2 月 14 日(火)・2 月 15 日(水)・2 月 20 日(月)

講　師：加藤包装技術事務所　加藤　武男　氏

トッパン・ヒューマン・インフォメーション・サービス㈱　坂巻　千尋　氏

⑤第 16 回緩衝包装設計コース

グループワークがプログラムの中にあるため、新型コロナウイルス感染予防措置により本年度の開催は中止した。

⑥第 46 回段ボール包装設計コース

グループワークがプログラムの中にあるため、新型コロナウイルス感染予防措置により本年度の開催は中止した。

（5）2022 パッケージングフォーラム　参加者 74 名

10 月 14 日(金)　東京ビッグサイト会議棟 6 階　610 会議室

テーマ①：「海外向けシート輸送固定材のオール段ボール化改善」

講　　師：スズキ㈱　生産本部 生産計画部 物流グループ 係長　石川　昌平　氏

テーマ②：「ＰＥ単一素材詰め替えパウチ「新パンテーンエフォートレスシリーズ」について」

講　　師：藤森工業㈱　研究所　ライフサイエンス開発部

機能性容器開発グループ　グループリーダー　池田　広隆　氏

テーマ③：「伝票封かん 簡単フクロック」

講　　師：レンゴー㈱　パッケージング部門　開発本部　包装技術第二部

関東包装技術課　主任　長原　耕太郎　氏

（6）セミナー・シンポジウム

①第 30 回化粧品包装セミナー

―ブランドオーナーが考えるサステナブル対応戦略と環境対応商品―

7 月 15 日(金)　オンライン開催　参加者 134 名

テーマ①：「雪肌精クリアウェルネスシリーズにおける包装資材のサステブル対応」

講　　師：㈱コーセー　商品デザイン部 設計開発室　設計一課　山田　浩司　氏

テーマ②：「ポーラ･オルビスホールディングスにおける化粧品の容器･包装での環境対応」

講　　師：㈱ポーラ・オルビスホールディングス

マルチプルインテリジェンスリサーチセンター　陶山　薫　氏

テーマ③：「花王の化粧品容器包装における環境対応の取り組み」
講　　師：花王㈱　包装技術研究所 グループリーダー　大鐘　新也　氏
テーマ④：「㈱資生堂における化粧品包装での環境対応活動」
講　　師：㈱資生堂 グローバルブランド開発センター
外装開発グループ・マネジャー　佐藤　照雄　氏

②第31回化粧品包装セミナー
—化粧品包装の次世代技術と環境配慮設計指針について—
12月13日(火)　オンライン開催　参加者 38名
テーマ①：「パール/エフェクト顔料による化粧品パッケージへの加飾及びサスティナブルな社会への貢献」
講　　師：メルクパフォーマンスマテリアルズ合同会社 開発応用技術部
東　　和久　氏
テーマ②：「ヒト型双腕ロボットNEXTAGEによる包装作業の自動化「ヒトとロボットが共存する活人化ラインの未来」
講　　師：カワダロボティクス㈱　営業部営業課　材原　拓也　氏
テーマ③：「化粧品容器包装に関する環境配慮設計指針（2022年）について」
講　　師：ライオン㈱　研究開発本部　ﾊﾟｯｹｰｼﾞ開発研究所　主任研究員
日本化粧品工業会　容器包装部会委員　井出　安彦　氏

③第18回包装材料セミナー
—循環型経済への移行に向けたプラスチックリサイクルの取り組みと技術動向—
1月27日(金)　オンライン開催　参加者 86名
テーマ①：「PET樹脂の需給ﾊﾞﾗﾝｽ・市場動向及び今後の環境低負荷材料の展開について」
講　　師：三菱商事プラスチック㈱　PET樹脂本部　PET樹脂部長　小泉　貴一郎　氏
テーマ②：「プラスチック資源循環デジタルプラットフォーム開発プロジェクト：BLUE Plastics」
講　　師：旭化成㈱　デジタル共創本部 資源循環プロジェクト長　井出　陽一郎　氏
テーマ③：「海外リサイクルガイドライン状況及びバリア包材のモノマテリアル化事例」
講　　師：㈱クラレ ｴﾊﾞｰﾙ事業部 市場開発部 第二ｸﾞﾙｰﾌﾟ ｸﾞﾙｰﾌﾟﾘｰﾀﾞｰ　北村　昌宏　氏
テーマ④：「ケミカルリサイクルをはじめとしたサーキュラーエコノミーへの取り組み」
講　　師：三菱ケミカル㈱　石化/炭素ﾋﾞｼﾞﾈｽｸﾞﾙｰﾌﾟ戦略企画本部
CN･CE戦略部 CN･CE事業ｸﾞﾙｰﾌﾟ長　太田　祥史　氏

④2022年度医薬品包装セミナー
—サステナブルな医薬品包装と安全管理の両立について考える—
3月10日(金)　オンライン開催　参加者 65名
テーマ①：「LCA概論とCO_2排出量可視化の取組み」
講　　師：大日本印刷㈱　Lifeデザイン事業部 イノベーティブパッケージングセンター
ビジネスデザイン本部 環境ビジネス推進部　原田　範夫　氏
テーマ②：「在宅医療･介護現場での服薬管理の実態及び容器･包装に関する問題点と要望」
講　　師：さいがケアファルマ合同会社　代表　雑賀　匡史　氏

テーマ③：「医薬品 RFID ソリューション Tag 4 Link のご紹介」
講　　師：サトーヘルスケア㈱　営業企画部 部長　　須賀　広道　氏
　　　　　㈱マイクロ・テクニカ　ｼｽﾃﾑｿﾘｭｰｼｮﾝ事業部　事業部長　　柴崎　　誠　氏
　　　　　㈱UACJ 製箔　　営業本部　新製品開発室　主査　　加藤　久弥　氏
テーマ④：「薬剤師の業務効率化を志向した包装・表示のあり方」
講　　師：熊本大学大学院　生命科学研究部　グローバル天然物科学研究センター
　　　　　特任准教授　　岩崎　竜之　氏

⑤第 10 回包装近未来シンポジウム
—世界の包装の動きと日本の進むべき道—
3 月 14 日（火）オンライン開催　　参加者 49 名
テーマ①：「世界の包装の急激な動き」
講　　師：WPO（世界包装機構）　副会長　　ネリダ・ケルトン　氏
テーマ②：「サーキュラーエコノミー実現に向けたブロックチェーン技術の活用」
講　　師：一般社団法人日本ブロックチェーン協会　アドバイザー兼渉外室長
　　　　　荻生　泰之　氏
テーマ③：「ライフサイクルに通じたパッケージングによる情報の流れの実例」
講　師：大日本印刷㈱　Life ﾃﾞｻﾞｲﾝ事業部 ｲﾉﾍﾞｰﾃｨﾌﾞﾊﾟｯｹｰｼﾞﾝｸﾞｾﾝﾀｰ
　　　　ﾋﾞｼﾞﾈｽﾃﾞｻﾞｲﾝ本部 環境ﾋﾞｼﾞﾈｽ推進部　ﾘｰﾀﾞｰ　　柴田　あゆみ　氏
テーマ④：「パネルディスカッション」 -世界の動向を押さえつつ日本の進むべき方向は-
講　　師：パネリスト：講演者（3 名）企画委員

⑥第 12 回パッケージイノベーションセミナー　　【開催延期】

5）包装懇話会　（年間登録メンバー制）

４つの分野毎に懇話会を組織し、適宜、関心の高いテーマについて講師を招き講演を行っている。（いずれも本部でオンライン開催）

（1）食品・流通包装懇話会　　登録 61 名
7 月 14 日（木）参加者 36 名　9 月 29 日（木）参加者 61 名
12 月 7 日（水）参加者 24 名　1 月 26 日（木）参加者 53 名

（2）医薬品包装懇話会　　登録 112 名
5 月 27 日（金）参加者 77 名　9 月 22 日（木）参加者 65 名
11 月 22 日（火）参加者 75 名　2 月 10 日（金）参加者 80 名

（3）パッケージデザイン懇話会　　登録 35 名
5 月 20 日（金）参加者 32 名　8 月 26 日（金）参加者 47 名
11 月 25 日（金）参加者 39 名　2 月 17 日（金）参加者 27 名

（4）輸送包装懇話会　　登録 48 名
7 月 1 日（金）参加者 48 名　8 月 5 日（金）参加者 31 名
9 月 16 日（金）参加者 29 名　12 月 16 日（金）参加者 23 名
2 月 10 日（金）参加者 48 名

＜交流事業＞

国内事業においては、半日の工場見学を企画していたが新型コロナウイルス感染問題により、視察先の受入が開催直前まで不確定なため、本年度は開催を見送った。

海外事業においては、アジア包装連盟（APF）および世界包装機構（WPO）との連携行事は、新型コロナウイルス感染拡大のため中止またはオンライン開催となった。

１）国内事業

（１）月例見学会（年４回開催）

本年度に関しては、工場受け入れ先も新型コロナウイルスの影響により、開催を見送った。

２）海外事業

（１）世界包装機構（WPO）との連携

①WPO 理事会および一連の関連行事

5 月 3 日(火)～5 月 5 日(木)の日程で、イタリア・ミラノにてハイブリッド開催され、日本代表としてオンラインにて出席した。

・5 月 3 日(火)18:30〈現地時間〉幹部会議

・5 月 4 日(水)18:30〈現地時間〉ワーキンググループ

・5 月 5 日(木)18:30〈現地時間〉理事会

6 月 15 日(水)～18 日(土)にタイ・バンコクにて開催された展示会、PROPAK アジアに、WPO 派遣団として参加し、TOKYO PACK 2022 のプロモーション活動を行った。

TOKYO PACK 2022 の開催（10 月 12 日～14 日）に併せ、東京にて WPO 理事会および一連の関連行事を開催した。

・10 月 11 日(火)18:00　幹部会議

・10 月 12 日(水)18:00　ワーキンググループ

・10 月 13 日(木)18:00　理事会

・10 月 14 日(金)18:00　WPO カンファレンス（TOKYO PACK にて）

・10 月 15 日(土) 9:00　交流会

また WPO のオンライン幹部会議にも毎月 1 回出席している。

（２）アジア包装連盟（APF）との連携

4 月 19 日(火)15:00 より、APF 理事会がオンラインで開催された。

12 月 19 日(月)15:00　アジアスターコンテスト WEB 審査会の開催

12 月 20 日(火)15:00　APF 理事会の開催（オンライン）

（３）国際包装研究機関連絡会（IAPRI）との連携

第２３回ＩＡＰＲＩ世界包装会議　基調講演

6 月 12 日～15 日タイ・バンコクで開催された IAPRI 会議では当協会から講演会にスピーカーを派遣した。

IAPRI 事務局とは、メール等により随時情報交換を行っている。

（４）各国包装関連協会・団体との連携

新型コロナウイルス感染拡大により海外との交流が困難な時期が続いているため、WEB会議等で連携を取り、海外の情報収集に努めている。

・オランダ包装協会との提携

・アルゼンチン包装協会との展示会相互プロモーション

（５）海外からの来日包装関係者の受入れ

9月30日(金):タイ科学技術研究所所長Dr. Chutima Eamchotchawalit氏及びDr. Boonnanida Sodha氏が来協し、包装と包装廃棄物に関わる情報交換、並びに包装技術者育成に関するプログラムへの協力に対して協議を行った。

（６）海外への講師および包装専門家の派遣

タイ・パッケージングセンターと連携した緩衝包装設計講座の開催

新型コロナウイルスの影響により、開催を見送った。

＜普及啓発事業＞　東京本部

本事業の中心となる日本パッケージングコンテストは、経済産業省、日本商工会議所等の後援のもとに毎年開催されている。一般に対してもホームページからの募集を行っており参加が可能である。本年度も大学、公的機関及び消費者団体の方々で構成された審査員によって各賞を決定し、入賞製品（最高賞は経済産業大臣賞）をグッドパッケージング展としてTOKYO PACK 2022の特設会場において一般公開した。

木下賞については、本年度も審査員は官学からの有識者で構成され、応募はホームページを通して一般にも公開されるため誰でも無料で応募できるが、審査基準は大変高くまた厳しいものとなっている。本年度は、３５件の申込があり過去最高の応募者数だった。例年どおり４月に審査会を実施し、９件の優秀作品を選定した。なお８月に予定していた表彰式は、新型コロナウイルス感染状況を鑑み中止とした。

１）第４６回木下賞　　　　　審査選考：４月　　表彰式：８月予定は中止

2022年2月1日(火)から3月31日(木)の間に作品を募集し、応募３５作品のうち９作品が受賞した。

木下賞

Ａ．研究開発部門　：２件

・凸版印刷(株)　　　・大日本印刷(株)

Ｂ．改善合理化部門：２件

・レンゴー(株)　　　・ダイナパック(株)

Ｃ．新規創出部門：1件

・ソニーグループ(株)、ソニー(株)

包装技術賞：４件

・アステラス製薬(株)　　・ＤＩＣ(株)　　・アサヒビール(株)、ウェストロック(株)

・キリンホールディングス(株)

２）２０２２日本パッケージングコンテスト（第４４回）

審査委員は１７名で経済産業省をはじめとする公的組織からの代表や学識経験者によって構成され、企業からの参加はない。（審査委員長：　東京大学名誉教授　小野　擴邦　氏）

審査選考　6月16日（木）・17日（金）
表 彰 式　新型コロナウイルス第７波の影響により中止
応 募 数　３８３点　入賞　１３２点（内、ジャパンスター賞　１３点）
経済産業大臣賞：『海外向けシート輸送固定材のオール段ボール化改善』　スズキ（株）

３）２０２２グッドパッケージング展

10月12日（水）～14日（金）　「TOKYO PACK 2022」会場内特設ブース

上記コンテストにおいて入賞したパッケージ１３２点（ジャパンスター賞１３点、グッドパッケージング賞１１９点）の展示を「TOKYO PACK 2022」の会場で行った。

また、入賞したパッケージは、すべて作品説明を和英で作成し、雑誌「包装技術」で紹介する他、小冊子を作成しＰＲ活動を行っている。

２．展示会事業　（公益目的事業　２）

展示会事業としての「TOKYO PACK 2022」は東京オリンピック・パラリンピックの延期により、昨年２月の開催に続き、２年連続での開催となった。本展は新型コロナウイルス感染拡大の影響が長期化することが予想されたため、展示規模を当初より３割ほど面積を削減し、４ホールでの開催とした。会期中における３日間の入場者は前回を大きく上回り、展示会への客足が戻ってきたことを証明するものとなった。

また、本年１０月に開催予定の「暮らしの包装商品展」の開催準備も合わせて行った。

１）TOKYO PACK 2022 開催報告

名　称：TOKYO PACK 2022 － 2022東京国際包装展
　　Tokyo International Packaging Exhibition 2022
テーマ：新時代パッケージ　ここに集う！　-未来のために機能進化と使命-
会　期：2022年10月12日(水)～10月14日(金) 3日間 10:00～17:00
会　場：東京ビッグサイト(東京国際展示場) 東1～3・東6ホール（４ホール）
後　援：経済産業省　他８団体
協　賛：包装関連団体 100団体
出展内容：包装資材・容器　包装機械　印刷・包材加工機械　食品・医薬品・クリーン関連機材、検査・計測・環境関連機材　包装デザイン・サービス　次世代テクノロジー、包装・物流ソリューション　海外出展
開催規模：406社・団体 1,602小間
来場者数：来場登録者数：53,466人　総来場者数：167,053人
併催行事：2022グッドパッケージング展、2022木下賞受賞作品展
　出展社による最新包装技術セミナー、PACKAGE DESIGN PAVILION 2022

２）暮らしの包装商品展2023開催準備

会　　期：2023年10月26日(木)～27日(金)2日間　11:00～17:00

会　　場：東京駅丸の内 KITTE 1F アトリウム　B1F 東京シティアイパフォーマンスゾーン

展示内容：2023グッドパッケージング展／2023（第47回）木下賞受賞作品展／クイズラリー

後　　援：経済産業省（申請予定）

入　　場：一般公開　入場無料

※出展申込締切：2023年4月28日(金)

３）主要各国の展示会へのPR小間出展

下記の海外包装展にTOKYO PACK 2022 PRブースを出展し、出展及び来場を誘致した。

〇Alimentek 2022

とき：4月26日(火)～29日(金)

ところ：ブエノスアイレス（アルゼンチン）

※なお、Alimentek 2022へのブースには説明員をつけず、ポスターと資料のみを展示した。

３．調査研究事業　（公益目的事業　３）　東京本部

現在、日本は、ＩＳＯ／ＴＣ１２２(包装)の議長及び、国際幹事国を引受けており、当協会は、包装分野の国内審議団体として、ＩＳＯ規格の開発・改廃を進め、これらを通じて国際間の相互理解促進に寄与している。ＩＳＯにおける日本からの提案である、「『令和４年度政府戦略分野に係る国際標準開発活動』テーマ名：適正包装に関する国際標準化」事業は令和４年度より３カ年計画で新事業を開始する。新規事業として、仮名称 段ボール箱の形式呼称の開発をスタートさせる。継続事業としてＩＳＯ／ＴＲ１８６０７「ＩＳＯ　１８６００規格群に基づく包装の環境配慮設計ガイドブック、改正ＩＳＯ２１８９８「非危険物用フレキシブルコンテナ」の開発を進める。なお、令和４年５月には、日本提案でＩＳＯ１５７５０-３「鋼製ドラム規格」の改正規格が発行された。これら開発事業以外にも国際幹事国としてＩＳＯ／ＴＣ１２２(包装)における様々な規格開発の支援を行う。一方、「包装のアクセシブルデザイン」は、日本から提案した４つの国際規格及びＪＩＳ規格の開発は終了し、「包装のアクセシブルデザイン」の個別規格として、ＪＩＳ新規テーマ２件の規格化の活動を実施しており、令和４年度はＪＩＳ新規テーマ開発の最終年度にあたっている。

また､包装は国民の日常生活に深く係っており、絶えず、その標準化を見直し、生活し易い環境を整えることが求められていることから、本年度もＪＩＳ規格の見直し作業も精力的に進めた。

１）ＩＳＯ/ＴＣ１２２(包装)の議長･国際幹事国(事務局)としての活動

（１）第２５回ＩＳＯ/ＴＣ１２２総会

２０２２年6月２１日に、リモートでオンライン開催し、世界８か国から２９名(うち日本から１０名)が参加した。

（２）各ＷＧ（規格開発作業グループ）の国際会議への参加

２）ＩＳＯ/ＴＣ１２２(包装)の国内審議団体としての調査研究及び標準開発活動

（１）包装全般の国際規格に関する支援

（２）「国際標準開発」に対する調査研究

① 仮名称 段ボール箱の形式呼称の 国際標準の開発（日本新規提案）

② ISO/TR18607:「ISO18600規格群に基づく包装の環境配慮設計ガイドブック」の 国際標準の開発（日本新規提案）
③ ISO21898:「非危険物用フレキシブルコンテナ」の国際標準の開発（日本改正提案）
④ ISO 7683 プラスチック製容器に適用される取り外し可能なシュリンクラベルに関する設計ガイドライン及び試験方法（韓国提案への対応）
⑤ ISO 4924 宅配便包装に関するエコデザインの原則、評価要求事項及びガイドライン（中国提案への対応）
⑥ ISO 17508 危険物輸送包装－ポリエチレン製包装及び共押出プラスチック包装の（対内容物）化学的適合性（ドイツ提案への対応）
⑦ ISO 23416:温度制御が必要な医薬品包装の適正物流一般要求事項､試験方法
ISO 23417:非滅菌医療機器包装の適正物流一般要求事項、試験方法
（韓国提案への対応）
⑧ 新規として、段ボール箱の形式の国際標準化提案に向けた準備

３）ＪＩＳ制定・改正に関する調査研究

（１）包装に関するＪＩＳの原案作成事業の実施
① JIS S 0021-5「包装―アクセシブルデザイン―第５部:集合包装用段ボール箱の重量に関する情報の表示」の制定
② JIS S 0021-6「包装―アクセシブルデザイン―第６部:詰替え容器」の制定
③ JIS Z 0200「包装貨物－性能試験方法一般通則」の改正

（２）５年経過したＪＩＳの定期見直し

上記標準化開発､調査研究は、政府関連機関からの委託事業又は日本規格協会の公募事業である。

４）包装産業出荷統計に関する調査研究

（１）２０２１年の日本の包装産業出荷統計に関する調査研究

包装・容器出荷金額	5兆6,496億円	（前年 5兆5,256億円	前年比102.2%）
包装関連機械生産金額	4,981億円	（前年 4,853億円	前年比102.6%）
合計金額	6兆1,477億円	（前年 6兆0,109億円	前年比102.3%）

（２）２０２２年の日本の包装産業出荷統計に関する調査研究

包装産業関連各団体より統計資料収集

５）包装技術教育高度化に関する研究・開発

現在、進めている包装技術に関する研究、啓発事業は次のとおりである。

（１）関係団体の標準化事業への協力

関係団体からの要請に応じ、委員会に出席するなど標準化、研究事業への協力

（２）啓発活動

出版活動と連携して「Q&A容器包装規制・基準の手引き誌」､「包装用語早わかり（包装用語辞典)」への執筆

４．出版関連事業　（収益事業）　本部

月刊誌「包装技術」は、当会会員により構成された編集委員会によって企画が行われており、創立以来、欠号なく刊行されている。本年度も引続き誌面の一層の充実を図りながら、月刊誌として毎月刊行している。

本誌は、包装技術及び関連情報が中心となっているが、当会事業の案内や調査研究の成果、さらに新会員の紹介など幅広い内容を掲載し公開している。

本事業は会員への機関誌配布のみならず収益事業として、一般販売による購読収入と広告掲載収入によって進められている。

また、包装技術便覧を1995年以来の全面改訂版(第5版)として2019年２月に発刊したことを受け、包装産業界の人材教育、研究開発の一助として広報並びに販売を行っている。

そのほか、2019年より編集を進めていた包装用語辞典「包装用語早わかり」が10月１日に発刊となり、広報、販売を開始した。

日本の包装産業出荷統計に関する調査研究は、昭和３８年の創立以来欠かすことなく継続しており、本年度も２０２１年の統計を刊行した。

１）機関誌「包装技術」の刊行　　月刊（毎月１日発行、2023年3月号で通巻719号）

機関誌「包装技術」掲載記事

■2022年４月号 特集：ご当地パッケージ
- ①「選びたくなるお土産」のパッケージデザインの作り方　(株)TCD　山崎 晴司 氏
- ② ご当地レトルトカレー・パッケージデザイン考　(公社)日本パッケージデザイン協会　中越 出 氏
- ③ お菓子のパッケージが犬山城の石垣に　(株)クラウン・パッケージ　八木野 徹 氏
- ④ 古都華・淡雪・パールホワイト プレミアムパッケージ　(株)高木包装　髙木 美香 氏
- ⑤「富山市ベイビーボックス 2021」の開発　サクラパックス(株)　矢後 遥香 氏
- ⑥ 御食国の誇り「若狭小浜小鯛ささ漬」　協同組合小浜ささ漬協会　田村 仁志 氏
- ⑦ オリジナルダンボール：はちのへからおとどけものBOX　八戸市　古町 有加 氏
- ⑧ 地方創生の現場から－長崎の過去とこれから－　長崎県立大学　綱 辰幸 氏

■2022年５月号 特集：第59回全日本包装技術研究大会優秀発表
- ① 洗濯用プレ洗剤　新規シャワーキャップの開発　ライオン(株)　川西 俊輔 氏、(株)吉野工業所　當麻 徹 氏
- ② 塩素系漂白剤の保管性に優れるPETボトルの開発　三菱ガス化学(株)　中村 仁 氏、宮部 高徳 氏
- ③ 実輸送再現振動試験における回転挙動の蓄積疲労評価　エクサーチ(株)　高木 雅広 氏、スターダイナ　星野 裕昭 氏
- ④ 速度の尖度を考慮した振動試験方法　山九(株)　中井 太地 氏、神戸大学　斎藤 勝彦 氏
- ⑤ ハイブリッドパレットによる物流改善　アイロップ(株)　川原 慎也 氏
- ⑥ 折るだけでロック！『シマオカロック』の開発　ダイナパック(株)　嶋岡 颯人 氏

■2022年６月号 特集：素材の再資源化技術
- ① プラスチック資源循環促進法について　経済産業省
- ② ペットボトル資源循環型リサイクル(ボトルtoボトルリサイクル)事業について　姫路市　井上 正也 氏
- ③ NEDO「革新的プラスチック資源循環プロセス技術開発」について　(国研)新エネルギー・産業技術総合開発機構　柳田 泰宏 氏、磯部 祐司 氏、今西 大介氏
- ④ 高度マテリアルリサイクルプロセスを踏まえた資源循環システム　福岡大学　八尾 滋 氏

⑤ 廃プラスチック問題の解決に貢献するケミカルリサイクル技術
荏原環境プラント(株)　森澤 伸哉 氏
⑥ メカニカルリサイクルとケミカルリサイクルの海外最新動向
(株)パッケージング・ストラテジー・ジャパン　森 泰正 氏
⑦ ペットボトル「ボトル to ボトル」の取り組み　/(一社)全国清涼飲料連合会　舘野 孝二 氏
⑧ 日本における発泡スチロール(EPS)の歴史とリサイクルについて
発泡スチロール協会　山下 昌利 氏
⑨ 紙ごみからトイレ紙再生！その技術の秘密　コアレックス信栄(株)　佐野 仁 氏
⑩ 循環型経済における段ボールについて
段ボールリサイクル協議会　全国段ボール工業組合連合会　端山 亮 氏
⑪ Tray to Tray(T2T)と rCPET トレイ　ウツミリサイクルシステムズ(株)　内海 正顯 氏

■2022 年７月号 特集：デジタル印刷と周辺技術の最新動向
① 軟包装用途向けデジタル印刷技術の最新動向
(株)バリューマシーンインターナショナル　宮本 泰夫 氏
② HP Indigo 25K デジタル印刷機の進化と最新事例　(株)日本 HP　柴崎 純平 氏
③ デジタル印刷で広がる段ボールケースの新たな展開　レンゴー(株)　藤井 利明 氏
④ 削りカスの出ないバリアブル（可変）スクラッチカード印刷
ムラセ印刷(株)　村瀬 慎一 氏
⑤ 段ボールデジタル印刷の最新動向　日本製図器工業(株)　福田 正範 氏
⑥ レンチキュラー印刷－印刷物に新たな付加価値を－　(有)サンコー
⑦ さまざまな製品素材に印字可能な高解像度インクジェットによるバリアブル印字
アルマーク(株)　西川 みどり 氏
⑧ 軟包装用フルカラー水性インクジェット「MJP30AXF」について　(株)ミヤコシ　古川 健 氏
⑨ 創造－デジタル印刷（ギガプリンター）活用事例　ダイナパック(株)　鈴木 賢司 氏

■2022 年８月号 特集：医薬・衛生包装の最新動向
① 小児の医薬品誤飲防止を目的とした新規包装の有効性に関する基礎的検討
東京薬科大学　下枝 貞彦 氏
② 医薬品包装学の確立に向けて　熊本大学　岩崎 竜之 氏、菊池 正彦 氏、入江 徹美 氏
③ 一般用医薬品における包装設計　アリナミン製薬(株)　山内 理嗣 氏
④ 高機能な医薬品包装の開発　シオノギファーマ(株)　福島 厚志 氏
⑤ 薄箔成形による新しい完全バリア包装「コンパクト SP」　(株)カナエ　守安 晴香 氏
⑥ 医薬品包装の最新動向－環境を意識した医薬品包装への取組み－
朝日印刷(株)　森田 誠 氏
⑦ 海外で出逢った医薬品パッケージの新たな紙器設計の展開　(株)協進印刷　千田 建一 氏
⑧ 医薬品容器における環境対策　大成化工(株)　早野 信吾 氏
⑨ UV インクジェットを用いた PTP アルミ　昭北ラミネート工業(株)　森野 映介 氏
⑩ 最後までしっかり絞り出せる　医薬品に最適な使い切りアルミチューブ『エンボスチューブ』　関西チューブ(株)　池原 伸幸 氏
⑪ 機能的な医薬品包装の開発　丸金印刷(株)　西尾 正彦 氏、明嵐 裕美 氏

■2022 年９月号 特集：新たな検査・試験
① 包装評価試験環境シミュレーションのための CAE 技法　スターダイナ　星野 裕昭 氏、
ファンクションベイ(株)　三上 貴治 氏、エクサーチ(株)　高木 雅広 氏
② 防錆材料の初期防錆性能の評価法　日本化工機材(株)　高橋 裕美 氏
③ 段ボール箱の損傷度に基づく積載条件の適正化　レンゴー(株)　東山 哲 氏
④ X 線検査の歴史，基礎，３次元構造解析　(株)島津製作所　夏原 正仁 氏
⑤ 高機能包装材料表面検査装置－食品市場向けフィルムの高品質化ニーズに対応する LSC－6000 シリーズ－　(株)メック　魚川 洋 氏、鈴田 将也 氏
⑥【３軸同時振動】＋【温度】の新しい複合環境試験機『TRE－200』
アイデックス(株)　上原 雅史 氏、エスペック(株)　東迫 正通 氏

⑦ 緩衝包装設計評価の課題とその解決提案　　　　　　神栄テクノロジー(株)　川口 和晃 氏
⑧ 紙製ばねの開発/振動試験による技術支援
　　　　　　　　　　　　(地独) 東京都立産業技術研究センター　岩田 雄介 氏、福田 良司 氏
⑨ 輸送中の荷台振動の加速度 PSD を取得するための簡易加速度計測ロガーの提案
　　　　　　　　　　　(地独)大阪産業技術研究所　堀口 翔伍 氏、津田 和城 氏、細山 亮 氏
　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　(国大)東京海洋大学　渡部 大輔 氏
⑩ 振動試験現場の DX を推進するクラウドサービス「iMV cloud」　　IMV(株)　宮西 靖 氏

■2022 年 10 月号 特集：食品包装の最前線
① 各種温度帯での製品開発と食品包装　　　　　　東洋食品工業短期大学　宮尾 宗央 氏
② 冷凍食品向け新型即食ピロー包材「いただきピロー®」の開発
　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　凸版印刷㈱　川崎 健太郎 氏
③ 改めて注目される食品品質保持用包装資材“アンチモールド・マイルド®”
　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　フロイント産業㈱　菖蒲 智之 氏
④ 優れたリサイクル性および生分解性を有する紙素材による包装用コート紙
　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　三菱製紙㈱　池澤 善実 氏
⑤ 充填機メーカーからみた紙包装フィルムの課題について　大森機械工業㈱　一岡 幹朗 氏
⑥ プラスチックを削減できる，紙トレーを使った包装システム
　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　東京食品機械㈱　藤原 粛翁 氏
⑦ 食品流通用段ボール製ワンウェイトレー「スマイルトレー」
　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　セッツカートン㈱　木野元 朝幸 氏
⑧ 挑戦し続ける　シャウエッセン　　　　　　　　　　　　　日本ハム㈱　長田 昌之 氏
⑨「容器包装 2030」持続可能な容器包装の実現　　　　　　アサヒ飲料㈱　張 義宏 氏
⑩「Loop」向け商品開発ストーリー　　　　　　　　　　　　㈱ロッテ　藤原 普夫 氏
⑪ スターバックス®コーヒートラベラーの開発　　レンゴー㈱　石塚 由樹 氏、長峯 道代 氏
　　　　　　　　スターバックス コーヒー ジャパン(株) 沼田 孔文 氏、加賀美 春奈 氏

■2022 年 11 月号 特集：トイレタリー・化粧品包装の最新動向
① キレイキレイ薬用ハンドコンディショニングソープのパッケージの差別化
　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　ライオン㈱　芹澤 舞 氏
② バスマジックリン エアジェット容器の開発　　　　　　　花王㈱　青山 涼平 氏
③ 定量容器「くるピタ®容器」の開発　　　　　　　　　　大成化工㈱　小川 幸弘 氏
④ 生理用品用ディスペンサーの開発経緯と仕様の工夫点について
　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　タマパック㈱　森川 真衣 氏
⑤ ELIXIR エステティックエッセンス容器の開発　　　　㈱資生堂　大西 貴子 氏
⑥ 雪肌精 クリアウェルネス　メッセージを込めたパッケージデザイン開発
　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　㈱コーセー　横倉 尚子 氏
⑦ デジタル印刷スパウトパウチ　　　　　　　　　　　福島印刷工業㈱　吉田 潤一 氏
⑧ 必要から欲求へ、価値の敷衍　　　　　　三洋化学工業㈱　代表取締役　井上 厚弘 氏
⑨「POLYGONS」－打抜工程のスジ加工のみで表現した多角形構成パッケージ－
　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　富山スガキ㈱　山田 亜樹 氏

■2022 年 12 月号 特集：包装と安全
① 脱酸素剤と検知剤で確かな品質保持を　　　　　　　　三菱ガス化学㈱　横山 智子 氏
② 相手を想う「包む」という包装文化／持ち込みラッピング・ギフト包装代行サービス
　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　つつみ屋工房
③『マウント５』にて手に優しい段ボール製品について 日本ダイスチール㈱　藤井 浄史 氏
④ 水さえあればどこでも発電「柏葉水電池」－アルミパッケージの活用により安全に発電－
　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　㈱MAKS　友添 博介 氏
⑤ 塩化ビニル樹脂の特徴と安全性前　　　　　　　　塩ビ工業・環境協会　内田 陽一 氏
⑥ PTP シート用多機能ラベル－誤飲防止，服薬順守，曝露防止対策として－
　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　㈱IL ファーマパッケージング　高橋 香織 氏
⑦ ステルスインクを使用したトレーサビリティについて　　紀州技研工業㈱　塩﨑 智之氏

⑧ 植物由来の抗菌ポリマラップ® 信越ポリマー㈱ 佐々木 達暢 氏
⑨ 食品衛生法における器具・容器包装の規格基準 (公社)日本食品衛生協会 阿部 智之氏
⑩ 乳等省令と乳等の容器に関する自主基準 (一社)日本乳容器・機器協会 平野 了悟 氏
⑪ 安全な製品を設計するための考え方 田口技術士事務所 田口 宏之 氏

■2023年1月号 新春特集：第46回木下賞受賞論文
① 電子レンジ対応紙カップの開発 大日本印刷㈱ 武本 一平 氏
② 通販・物流現場を変える！三辺可変包装システム「PALMIRA(パルミラ)®」
レンゴー㈱ 榎本 匡宏 氏
③ 折るだけでロック！『シマオカロック』 ダイナパック㈱ 嶋岡 颯人氏
④ Sony's Original Blended Material「WF-1000 XM４」Package／
ソニーグループ㈱ 廣瀬 賢一 氏
⑤ バイオマス原料を用いたPTPシートの実用化
アステラス製薬㈱ 西田 航大 氏、三橋 充 氏、吉田 友宏 氏
⑥ 分別塗工方式による新規無溶剤型接着剤(DUALAM) DIC㈱ 並木 譲 氏
⑦ 次世代サステナブル６缶パック「エコパック」の開発 アサヒビール㈱ 中島 宏章 氏
⑧ メルシャン『おいしい酸化防止剤無添加ワイン』用軽量ペットボトルの開発
キリンホールディングス㈱ 新井 裕貴 氏

特集２：TOKYO PACK 2022 海外情報特集 Vol.１
① EUにおける環境包装の最新情報 住本技術士事務所 住本 充弘 氏
② EUパッケージ規制のロードマップ－ドイツの法改正
㈱パッケージング・ストラテジー・ジャパン 森 泰正 氏
③ 世界のパッケージングに影響を与えるトレンド 有田技術士事務所 有田 俊雄 氏
④ サステナブル/サーキュラー・パッケージデザイン：世界の包装産業の今
有田技術士事務所 有田 俊雄 氏

◆年頭所感◆ (公社)日本包装技術協会 磯崎 功典 会長

◆新春随筆◆
近畿刃物工業㈱ 阿形 清信 氏、ワイコム㈱ 荒木 俊昭 氏、東京計器㈱ 安藤 毅 氏、
マルハニチロ㈱ 池見 賢 氏、カルビー㈱ 伊藤 秀二 氏、セイコーエプソン㈱ 小川 恭範 氏、
ブラザーインダストリアルプリンティング㈱ 奥山 晴美 氏、㈱トキワ 金井 博之 氏、
㈱カナオカホールディングス 金岡 良延 氏、郵船ロジスティクス㈱ 神山 亨 氏、
日東紙器工業㈱ 木野田 博之 氏、新江州㈱ 木村 哲也 氏、のむら産業㈱ 清川 悦男 氏、
山陽パッケージシステム㈱ 小林 大敏 氏、㈱オートテクニック 齋藤 清市 氏、
太陽ファルマテック㈱ 佐藤 英志 氏、㈱スズカ未来 末松 正裕 氏、静甲㈱ 鈴木 惠子 氏、
㈱高木包装 髙木 美香 氏、大日本商事㈱ 高松 徹 氏、
㈱SCREENグラフィックソリューションズ 田中 志佳 氏、㈱テクロンジャパン 張 崇明 氏、
㈱トービ 寺谷 一紀 氏、(一財)化学研究評価機構 照井 惠光 氏、大阪硝子㈱ 新名 和也 氏、
グラクソ・スミスクライン・コンシューマー・ヘルスケア・ジャパン㈱ 野上 麻理 氏、
㈱ベルグリーンワイズ 野寄 健 氏、リンテック㈱ 服部 真 氏、㈱オリエント総業 原田 秀典 氏、
ダックエンジニアリング㈱ 氷上 好孝 氏、廣川㈱ 廣川 信也 氏、㈱悠心 二瀬 克規 氏、
ジャパンフリトレー㈱ 松田 光弘 氏、㈱ミヤコシ 宮腰 亨 氏、牛乳石鹸共進社㈱ 宮崎 悌二 氏、
信和産業㈱ 村野 友信 氏、三井物産プラスチック㈱ 森 克則 氏、王子ホールディングス㈱ 森平 高行 氏、
ベーリンガーインゲルハイム製薬㈱ 山﨑 誠治 氏、
富士フイルムグローバルグラフィックシステムズ㈱ 山田 周一郎 氏、日鋼運輸㈱ 吉田 一 氏

◆新春 誌上インタビュー◆
(公社)日本包装技術協会 北村 正 常務理事、本松 裕次 常務理事、
清水 二郎 理事、和田 洋一 理事、原田 裕司 理事

■2023年２月号 特集：2022日本パッケージングコンテスト JAPAN STAR 受賞作品
① シート輸送固定材 オール段ボール化 スズキ㈱ 石川 昌平 氏
② ポリエチレン単一素材つめかえパウチの開発 藤森工業㈱ 池田 広隆 氏
③「伝票封かん 簡単フクロック」の開発 レンゴー㈱ 長原 耕太郎 氏
④「巻いて曲げるだけ」簡単角当緩衝材でウェザーカバーを梱包
ダイナパック㈱ 齋藤 利行 氏

⑤ ルックプラス 泡ピタ トイレ洗浄スプレーの開発　ライオン㈱ 本間 正洋 氏
⑥ つかんで瞬開！ V-Link®ジッパー　レンゴー㈱ 半田 雅之 氏
⑦「GREEN BASE　ドライベジシリーズ」紙製軟包装　クラフトクリア™
ザ・パック㈱ 堀川 卓哉 氏

特集２：TOKYO PACK 2022 海外情報特集 Vol.２
① パッケージングの新たな挑戦とその未来－ソリューションと環境対応へのチャレンジ－
㈱Mintel Japan 吉田 亜紀子 氏
② 持続可能な未来のための食料システムの変革
㈱パッケージング・ストラテジー・ジャパン 森 泰正 氏

■2023年３月号 特集：持続可能な社会への取組み
① ゼロカーボンを目指す持続可能な社会におけるプラスチック容器の使い方
早稲田大学 加茂 徹 氏
② 物流や包装における環境負荷低減への取組み
島津ロジスティクスサービス㈱ 國分 久人 氏
③ 使い勝手も環境にもやさしいパッケージ「押すだけプシュッ！と」
㈱Mizkan　篠原 正典 氏
④ 海洋プラスチックごみの削減から持続可能な社会の実現にむけて　CLOMA 柳田 康一 氏
⑤ オリジナルパッケージ作製サービスのORiPA（オリパ）　新居紙器㈱ 新居 慶二 氏
⑥ プラスチックキャップの水平リサイクルに向けた共同取組み
日本山村硝子㈱ 千葉 隆宏 氏
⑦ リデュース・リユース・リサイクル推進功労者等表彰受賞企業等における容器包装に関わる資源循環の活動　リデュース・リユース・リサイクル推進協議会 事務局
⑧ 使用済みストレッチフィルム由来のリサイクル原料を用いたアップサイクルブランド/プロジェクト「ReTA BASE®」　㈱パンテック　大野 賢 氏
⑨ 海藻由来の食べられる包装材　『可食性フィルム』の現状と展望
伊那食品工業㈱　宮脇 大輔 氏

２）単行本「包装用語早わかり(包装用語辞典)」を２０２２年１０月１日付けで発刊した。

３）「包装技術便覧/2019年2月発刊」、単行本「包装…知っとく知識」、
新刊「包装用語早わかり(包装用語辞典)/2022年10月発刊」の販売

４）「Ｑ＆Ａ容器包装規制基準の手引き」誌の編纂

第２．諸　会　議

１）理事会	5月19日(木)、6月7日(火)	如水会館、オンライン併催
	11月8日(火)、3月7日(火)	如水会館、オンライン併催
２）常務理事会	10月24日(月)、2月16日(木)	JPI会議室オンライン開催
３）全国支部連絡会	11月16日(水)	ニューオータニイン札幌
４）本部・支部諸会議	本支部単位で運営委員会・講習会委員会等を逐次開催	
①東京本部　(研修教育)	包装専士講座研修委員会、包装管理士講座研修委員会、WEBフォーラム委員会、包装懇話会幹事会、各種セミナー企画委員会、他	
(展 示 会)	東京国際包装展実行委員会	
(調査研究)	ISO/TC122委員会、JIS委員会、他	
(出　　版)	月刊「包装技術」編集委員会、包装統計委員会	

②関西支部　　支部役員会 5 月 25 日(水)、運営委員会 12 月 7 日(水)・3 月 8 日(水)
生活者包装研究懇談会実行委員会 9 月 13 日(火)・1 月 17 日(火)
③中部支部　　役員会　5 月 26 日(木)、運営委員会 9 月 16 日(金)・3 月 10 日(金)
研究例会テーマ検討作業部会（オンライン）　2 月 10 日(金)
④西日本支部　運営委員会　8 月→中止　・2 月　個別訪問
⑤北海道支部　運営委員会　5 月 31 日(火)・12 月 13 日(火)
⑥東北支部　　運営委員会　5 月 17 日(火)・10 月 26 日(水)・2 月 24 日(金)

第３．行事・その他の活動

１）行事

（１）第１１回定時総会　　6 月 7 日(火)　　如水会館

（２）新年会

東京本部	2023 年包装界合同新年会	1 月 12 日(木)	ホテル椿山荘東京	【中止】
関西支部	2023 年新春会員交流会/講演会	1 月 17 日(火)	大阪倶楽部	【中止】
中部支部	2023 年新年賀詞交歓会	1 月 19 日(木)	名古屋ﾏﾘｵｯﾄｱｿｼｱﾎﾃﾙ	【中止】
北海道支部	2023 年新春賀詞交歓会/新春研究会	1 月		【中止】
東北支部	2023 年新年名刺交換会/新春講演会	1 月 18 日(水)	江陽グランドホテル	【中止】

２）会員交流会・支部特別講演会
①関西支部　　支部会員総会 5 月 25 日（水）ホテル日航大阪
②中部支部　　支部会員総会 6 月 23 日（木）メルパルク名古屋
③西日本支部　定時総会報告会 8 月→　中止
④北海道支部　支部総会 7 月 20 日(水)ニューオータニイン札幌　　IPP 合同親睦会 7 月→中止
⑤東北支部　　新包装管理士を囲む会 11 月→中止

３）その他の活動

（１）Web サイトによる最新情報の提供　ホームページ定期更新 12 回、遂次情報発信

（２）Ｅメールによる協会活動内容の国内配信　メールマガジン年間 12 回　他、臨時配信

（３）ＪＰＩ関連団体との連絡提携
日本包装専士会、日本包装管理士会、日本包装コンサルタント協会、
技術士包装物流会、日本包装学会、日本ＭＨ協会　他

（４）行政機関要請への協力と連携、研究機関、消費者団体、市民団体等との連携
経済産業省、厚生労働省、環境省、農林水産省、国土交通省、中小企業庁、消費者庁、
東京都、福岡県循環推進課、
(地独)大阪産業技術研究所、兵庫県工業技術センター、あいち産業科学技術総合センター
その他要請内容について随時判断

第４．組　織

本年度会員動勢（2022 年 4 月 1 日～2023 年 3 月 31 日）は、次の通りである。

１．法人会員

2022 年度期首	本年度 増減		期末 会員数
	入 会 数	退 会 数	
990 社	30 社	33 社	987 社

２．個人会員

2022 年度期首	本年度 増減		期末 会員数
	入 会 数	退 会 数	
140 名	22 名	25 名	137 名

＜会 員 登 録 動 勢 一 覧＞

		2022 年 4 月 1 日	本 年 度		2023 年 3 月 31 日
			入会	退会	
会 員 総 数		1130	52	58	1124
法　　　人		990 社	30 社	33 社	987 社
(口数)		(1017)	(30)	(33)	(1014)
個　　　人		140 名	22 名	25 名	137 名
登 録 員 数	法人	990 社 2641 名	30 社 66 名	33 社 100 名	987 社 2607 名
	個人	140 名	22 名	25 名	137 名
	合計	2781 名	88 名	125 名	2744 名
本部（東京）	法人	1522 名	38 名	55 名	1505 名
	個人	65 名	9 名	6 名	68 名
関 西 支 部	法人	582 名	16 名	30 名	568 名
	個人	38 名	7 名	10 名	35 名
中 部 支 部	法人	363 名	2 名	11 名	354 名
	個人	20 名	3 名	5 名	18 名
西日本 支部	法人	89 名	3 名	3 名	89 名
	個人	5 名	1 名	1 名	5 名
北海道 支部	法人	45 名	2 名	0 名	47 名
	個人	1 名	0 名	0 名	1 名
東 北 支 部	法人	40 名	5 名	1 名	44 名
	個人	11 名	2 名	3 名	10 名

支　部

（北海道支部・東北支部・中部支部・関西支部・西日本支部）

２０２２年４月１日～２０２３年３月３１日

◎北海道支部

第１．事　業

＜研修、育成事業＞　（公益目的事業　１）

１）包装管理士講座（札幌会場募集枠）

１．受講者・合格者

受講総数：16名（内訳：生活者7名 ・ 輸送9名）　合格者：16名

２．カリキュラム

①集合研修：日帰り（ロワジールホテル豊橋）

・輸送包装コース　6月2日(木)

・生活者包装コース　6月1日(水)

②オンライン講義

・統括教科　6月8日(水)

・材料教科　6月15日(水)～6月17日(金)

・専門教科

・輸送包装コース　6月28日(火)～7月1日(金)

・生活者包装コース　7月5日(火)～7月8日(金)

③オンライン筆記試験

・輸送包装コース／生活者包装コース　8月22日(月)

④合宿研修

・ケーススタディ・面接試験　（ロワジールホテル豊橋）　【中止】

・輸送包装コース　9月5日(月)～9月7日(水)

・生活者包装コース　8月31日(水)～9月2日(金)

・代替オンライン補講　（ケーススタディ）

・輸送包装コース　㋐木箱包装設計演習　9月26日(月)

㋑段ボール包装設計演習　9月27日(火)

・生活者包装コース　㋒食品包装演習　9月26日(月)

㋓医薬品包装演習　9月27日(火)

㋔生活商品包装演習　9月27日(火)

２）研究会･講演会

（１）2022 北海道支部総会特別講演

7月20日(水)　ニューオータニイン札幌　参加者36名

テーマ：「コロナで変わる地域経済－北海道ブランドの現状と今後－」
講　師：地方独立行政法人 北海道立総合研究機構　理事長　　　　小髙　咲　氏

（２）第５７期包装管理士合格者レポート発表　11 月　【中止】
（３）包装懇話会（日本包装管理士会北海道支部と共催）　11 月　【中止】
（４）新春研究会（日本包装管理士会北海道支部と共催）　1 月　【中止】
（５）包装基礎セミナー　2 月　【中止】

＜交流事業＞　（公益目的事業　１）
１）企業見学研究会（北海道生産性本部と共催）　10 月　【中止】

第２．諸会議
１）第 1 回支部運営委員会　5 月 31 日(火)　北海道経済センター
２）第 2 回支部運営委員会　12 月 13 日(火)　北海道経済センター

第３．行事・その他の活動
１）北海道支部総会　7 月 20 日(水)　ニューオータニイン札幌　参加者 16 名
２）ＪＰＩ北道支部・ＩＰＰ北海道支部合同親睦会　7 月　【中止】
３）２０２３年賀詞交歓会（ＩＰＰ北海道支部と共催）　1 月　【中止】

◎東北支部

第１．事　業
１．研修、育成、交流事業、普及啓発
＜研修、育成事業＞　（公益目的事業　１）
１）包装管理士講座（仙台会場募集枠）
　１．受講者・合格者
　　受講総数：10 名（内訳：生活者 3 名 ・ 輸送 7 名）　合格者：10 名
　２．カリキュラム
　　①集合研修：日帰り（ロワジールホテル豊橋）
　　　・輸送包装コース　6月2日(木)
　　　・生活者包装コース　6月1日(水)
　　②オンライン講義
　　　・統括教科　6月8日(水)
　　　・材料教科　6月15日(水)～6月17日(金)
　　　・専門教科
　　　　・輸送包装コース　6月28日(火)～7月1日(金)
　　　　・生活者包装コース　7月5日(火)～7月8日(金)
　　③オンライン筆記試験
　　　・輸送包装コース／生活者包装コース　8月22日(月)

④合宿研修

・ケーススタディ・面接試験　（ロワジールホテル豊橋）　【中止】

・輸送包装コース　9月5日(月)～9月7日(水)

・生活者包装コース　8月31日(水)～9月2日(金)

・代替オンライン補講　（ケーススタディ）

・輸送包装コース　㋐木箱包装設計演習　9月26日(月)

㋑段ボール包装設計演習　9月27日(火)

・生活者包装コース　㋒食品包装演習　9月26日(月)

㋓医薬品包装演習　9月27日(火)

㋔生活商品包装演習　9月27日(火)

２）研究会・講演会

１．JPI WEB フォーラム（東北支部主催）

①11 月 7 日(月)　東北支部主催　参加者 120 名

２０２２日本パッケージングコンテスト入賞作品開発事例発表

テーマ①：「魅せるパッケージで脱プラ達成『クロスでパック』」

講　師：㈱クラウン・パッケージ　営業開発部　企画開発課　課長　清水　美孝　氏

テーマ②：「リチウムイオン電池１００％リサイクル EPS と極限収納

講　師：SBS 東芝ロジスティクス㈱　物流改革推進部

包装・設備技術担当　広川　秀美　氏

②2 月 9 日(木)　東北支部主催　参加者 154 名

テーマ①：落下高さに及ぼす貨物の混在様式の影響

講　師：石塚包装設計・開発事務所　代表　石塚　義夫　氏

テーマ②：青果物の鮮度保持最新技術

講　師：三菱ガス化学㈱　東京研究所・主任研究員　杉本　顕　氏

２．東北支部包装技術研究発表大会　11 月 11 日(金)　江陽グランドホテル　参加者 22 名

テーマ①：「既存ラインへの 355ml 缶製品製造能力付与を目的とした設備改造、
資材仕様並びに工程管理の検討について」

講　師：アサヒビール㈱　尾花　慧勇　氏

テーマ②：「作業時間短縮を目的とした鶏卵パック用梱包材の包装改善」

講　師：㈱丸定　長谷部　翔真　氏

テーマ③：「法要餅梱包改善による梱包作業の向上」

講　師：㈱エスパック　宮沢　卓也　氏

テーマ④：「漬物容器の改善提案」

講　師：㈱シンギ　阿部　貴宏　氏

3．実開催講習会(包装研究講演会)　2月24日(金)　ホテルメトロポリタン仙台

参加者 17名

テーマ①：「棒積みパレット積載とストレッチフィルムパレット梱包による箱材質の削減と保管時トラブルの防止について」

講　師：キユーピー株式会社 技術ソリューション研究所

シニアコーポレートサイエンティスト　高山　崇　氏

テーマ②：「１試料による包装貨物落下試験機を用いた簡易衝撃強さ試験方法」

講　師：神栄テクノロジー株式会社 システム事業推進部 部長　川口　和晃　氏

＜交流事業＞　（公益目的事業　１）

１．工場見学会　**【中止】**

第２．諸会議

１）東北支部運営委員会

第１回	5月17日(火)	オンライン会議
第２回	10月26日(水)	江陽グランドホテル
第３回	2月24日(金)	ホテルメトロポリタン仙台

第３．行事・その他の活動

１）第５７期包装管理士講座合格証書授与式・新包装管理士を囲む会　**【中止】**

２）２０２３年新年名刺交換会　1月 18 日(水)　江陽グランドホテル　**【中止】**

◎中部支部

第１．事　業

＜研修、育成事業＞　（公益目的事業　１）

１）包装管理士講座（名古屋会場募集枠）

１．受講者・合格者

受講総数：71名（内訳：　生活者27名 ・ 輸送44名）　合格者：69名

２．カリキュラム

①集合研修：日帰り（ロワジールホテル豊橋）

・輸送包装コース　6月2日(木)

・生活者包装コース　6月1日(水)

②オンライン講義

・統括教科　6月8日(水)

・材料教科　6月15日(水)～6月17日(金)

・専門教科

・輸送包装コース　6月28日(火)～7月1日(金)

・生活者包装コース　7月5日(火)～7月8日(金)

③オンライン筆記試験
・輸送包装コース／生活者包装コース　8月22日(月)
④合宿研修
・ケーススタディ・面接試験　(ロワジールホテル豊橋　【中止】
・輸送包装コース　9月5日(月)～9月7日(水)
・生活者包装コース　8月31日(水)～9月2日(金)
・代替オンライン補講　(ケーススタディ)
・輸送包装コース　㋐木箱包装設計演習　9月26日(月)
㋑段ボール包装設計演習　9月27日(火)
・生活者包装コース　㋒食品包装演習　9月26日(月)
㋓医薬品包装演習　9月27日(火)
㋔生活商品包装演習　9月27日(火)

2）研究会・講演会
〈研究会〉
（1）JPI WEB フォーラム（中部支部主催）
①7 月 13 日(水)　参加者 163 名
テーマ：「キユーピーハーフ３０年の歩み」
講　師：キユーピー㈱　品質保証本部　品質保証部　資材品質グループ
グループリーダー（包装専士）　和手　憲幸　氏
②8 月 5 日(金)　参加者 164 名
テーマ：「お米のプラスチック「ライスレジン」の可能性」
講　師：㈱バイオマスレジンホールディングス　CTO　坂口　和久　氏
③11 月 30 日(水)　参加者 152 名
テーマ：「現状の振動試験の課題と解決に向けて」
講　師：ＩＭＶ㈱　技術推進統括本部 Ｒ＆Ｄセンター部コアプロダクト開発課
兼営業本部 マーケティング部　萬井　公一　氏
④12 月 16 日(金)　参加者 128 名
テーマ：「エコ・クイック・ボックスの開発について』
講　師：日本トーカンパッケージ㈱　技術本部　包装開発センター
紙器包装技術グループ　今井　恵一　氏
⑤2 月 6 日（月）　参加者 225 名
テーマ：「紙パウダーを主原料にした
プラ新法に対応するプラスチック代替素材について」
講　師：㈱環境経営総合研究所　代表取締役　松下　敬通　氏
⑥3 月 23 日（木）　参加者 86 名
テーマ：「青果物の輸送促進に向けた実証研究について」
講　師：京都大学大学院農学研究科　准教授　中野　龍平　氏

（２）包装技術講習会　　11 月 9 日(水)　　(Zoom ウェビナー)　　　　　　　　参加者 59 名

テーマ①：「ワンウェイ段積治具の開発」

講　　師：㈱日立物流　ロジスティクスソリューション開発本部
ロジスティクステクノロジー部　　　　　金井　俊介　氏

テーマ②：「COVID－19 Pandemic で変化した社会におけるパッケージングの模索」

講　　師：住本技術士事務所　所長　　　　　　　　　　　　　　住本　充弘　氏

コーディネーター：笹徳印刷㈱　企画制作本部 PCC グループ
グループマネージャー（包装管理士）　　　北原　圭介　氏
あいち産業科学技術総合センター　産業技術センター
環境材料室長　　　山本　晃司　氏

〈講演会〉

（３）第５９回中部支部会員総会記念講演会　　　　　　　　　　　　　　参加者 44 名

6月24日(金)　　　ホテルメルパルク名古屋　３階「シリウス」

テーマ：「生分解性バイオマスプラスチックの高性能化と包装分野への応用」

講　師：東京大学大学院農学生命科学研究科
生物材料科学専攻高分子材料学研究室　教授　　　　　　　岩田　忠久　氏

（４）２０２２日本パッケージングコンテスト入賞作品発表会　　　　　　参加者 91 名

12 月 7 日(水)　　Zoom ウェビナー（オンライン）＋会場聴講（定員 30 名限定）
【会場】愛知県産業労働センター（ウインクあいち）11階1103会議室

テーマ①：「紫外線発色インキを使用したグミのパッケージ」

講　　師：ダイナパック㈱　蟹江事業所　営業部営業第二課
山内　宏晃　氏

テーマ②：「『環境配慮型の 3 缶用包装』の開発について」

講　　師：サッポロビール㈱　技術開発部　　　　　　　　　　　横石　智彦　氏

テーマ③：「海外向けシート輸送固定材　オール段ボール化改善」

講　　師：スズキ㈱　生産計画部物流グループ　　　　係長　　　石川　昌平　氏

テーマ④：「バイオマスプラスチックを用いた世界初の医薬品用 PTP シートの実用化」

講　　師：アステラス製薬㈱　製剤研究所包装・デバイス研究室　研究員　　西田　航大　氏

テーマ⑤：「自動車部品海外輸送用段ボール器具」

講　　師：中央紙器工業㈱　商品開発部　主任　　　　　　　　　礒貝　僚一　氏

進行兼コメンテーター：あいち産業科学技術総合センター 産業技術センター 環境材料室
主任研究員　　佐藤　幹彦　氏

（５）第６２回包装技術研究大会中部大会　　　　　　　　　　　　　　参加者 91 名

2 月 16 日(木)　　Zoom ウェビナー（オンライン）＋会場聴講（定員 30 名限定）
【会場】愛知県産業労働センター（ウインクあいち）12 階 1202 会議室

テーマ①：「簡易ラックによる作業効率の改善と安全性向上の実現」

講　　師：アイロップ㈱　名古屋営業部　野本　祐里子　氏
テーマ②：「手が痛くない手掛け穴の開発」

講　　師：ダイナパック㈱　開発本部中部CSC　設計グループ
野本　早紀　氏
テーマ③：「劇的改善！作業者と環境にやさしい 〜 巻くだけトレー」
講　　師：ナビエース㈱　営業本部販売推進部　杉本　洋輔　氏
テーマ④：「人工知能を用いた段ボール強度予測」
講　　師：あいち産業科学技術総合センター　産業技術センター　環境材料室
主任　飯田　恭平　氏
テーマ⑤：「包装に関わる標準化の動向と、改定JIS Z 0200 のポイントについて」
講　　師：公益社団法人日本包装技術協会　包装技術研究所　金子　武弘
コーディネーター：㈱オカベカミコン　代表取締役社長　岡部　智　氏
浅野段ボール㈱　営業部開発課　課長　鈴木　康二　氏

（6）第３４回包装研究懇話会　3月　【中止】
見学先：　竹本油脂㈱亀岩工場と研究所
内　容：　施設見学と勉強会

3）セミナー
（1）２０２２年度包装設計の基礎講座　参加者 31 名
※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、一部Teamsを利用したオンライン講義で実施
5月12日（木）・13日（金）　愛知県技術開発交流センター　交流会議室・研修室
第１日目
〈包装の役割と包装設計の考え方〉
・包装の社会的役割　・適性包装に向けて包装設計の考え方
三菱電機ロジスティクス㈱　物流技術部 主管（包装管理士）　星野　弘行　氏
〈段ボール箱の基礎と応用〉
・段ボールの構造と原紙種類　・段ボール箱の規格と製造工程　・箱の圧縮強さの評価
ダイナパック㈱　開発本部関東CSC部長（包装管理士）　早川　貴司　氏
〈段ボール箱の設計〉
・段ボール箱の設計手順　・段ボール箱の設計要因と劣化要因　・箱圧縮強さの算出法
ダイナパック㈱　開発本部関東CSC部長（包装管理士）　早川　貴司　氏
〈段ボール箱の製作〉
・段ボール箱の製作
ダイナパック㈱　開発本部関東CSC部長（包装管理士）　早川　貴司　氏
〈機能性プラスチック包装材料〉
・機能性プラスチック包装材料の種類と使用の実例・包装材料を取り巻く世界の法規制
㈱アイセロ 商品開発本部開発２部主査　溝端　一幸　氏

第２日目

〈緩衝包装設計〉

・緩衝包装の目的　・緩衝材の種類　・緩衝性能と緩衝設計技法

あいち産業科学技術総合センター 産業技術ｾﾝﾀｰ環境材料室　主任研究員　　佐藤　幹彦　氏

〈包装試験の目的と試験法〉

・包装試験、包装材料試験の目的と試験法および評価法

あいち産業科学技術総合センター 産業技術ｾﾝﾀｰ　環境材料室主任　　飯田　恭平　氏

〈包装試験施設の見学〉

・包装試験関連施設（衝撃･落下･振動試験、包装材料試験、箱圧縮試験など）の見学

あいち産業科学技術総合センター 産業技術ｾﾝﾀｰ　環境材料室主任　　林　直宏　氏 他

〈トータルコスト削減に向けた集合包装〉

・トータルコスト削減に向けた集合包装　　三菱電機㈱ 住環境研究開発センター

設計･品質技術開発部設計技術開発グループ　　新井　達也　氏

〈包装改善とロジスティクス〉

・ロジスティクスの中での包装の役割 ・輸送形態の特性とそれに適応した包装改善

㈱デンソーロジテム　物流サービス本部包装管理室室長（包装管理士）　佐藤　嘉和　氏

＜交流事業＞　（公益目的事業　１）

見学会　　　　９月～１０月　　　　【中止】

第２．諸会議

１）第５９回中部支部役員会	5 月 26 日(木)	名古屋マリオットアソシアホテル
２）第５９回中部支部会員総会	6 月 23 日(木)	メルパルク名古屋
３）中部支部運営委員会		
第１回	9 月 16 日(金)	Teams ミーティング
第２回	3 月 10 日(金)	名鉄グランドホテル
４）２０２２年度研究例会等講演テーマ検討作業部会		
	2 月 10 日(金)	Zoom ミーティング

第３．行事・その他の活動

１）第５９回 会員総会　会員交流会　　参加者 44 名

6 月 23 日(木)　　メルパルク名古屋

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、飲食物の提供無し。

２）第５７期包装管理士合格証書授与式・交流会　　【中止】

11 月 4 日(金)　　ホテルサンルートプラザ名古屋

３）２０２３年中部包装界新年賀詞交歓会　　【中止】

1 月 19 日(木)　　名古屋マリオットアソシアホテル

◎関西支部

第１．事　業
１．研修、育成、交流事業、普及啓発
＜研修、育成事業＞　（公益目的事業　１）
１）包装管理士講座（大阪会場募集枠）

１．受講者・合格者

受講総数：92 名（内訳：生活者 56 名 ・ 輸送 36 名）　合格者：91 名

２．カリキュラム

①集合研修：日帰り（ロワジールホテル豊橋）
・輸送包装コース　6月2日(木)
・生活者包装コース　6月1日(水)

②オンライン講義
・統括教科　6月8日(水)
・材料教科　6月15日(水)～6月17日(金)
・専門教科
　・輸送包装コース　6月28日(火)～7月1日(金)
　・生活者包装コース　7月5日(火)～7月8日(金)

③オンライン筆記試験
・輸送包装コース／生活者包装コース　8月22日(月)

④合宿研修
・ケーススタディ・面接試験　（ロワジールホテル豊橋）　【中止】
　・輸送包装コース　9月5日(月)～9月7日(水)
　・生活者包装コース　8月31日(水)～9月2日(金)
・代替オンライン補講　（ケーススタディ）
　・輸送包装コース　㋐木箱包装設計演習　9月26日(月)
　　㋑段ボール包装設計演習　9月27日(火)
　・生活者包装コース　㋒食品包装演習　9月26日(月)
　　㋓医薬品包装演習　9月27日(火)
　　㋔生活商品包装演習　9月27日(火)

２）研究会・講演会
（１）JPI WEB フォーラム(研究会)　関西支部主催

①7 月 29 日(金)　参加者 230 名
テーマ：「緊急！生活者アンケート報告～コロナ禍 3 年目で変わる
食品パッケージと買い物動向の関係性とは？！」
講　師：日報ビジネス㈱ 包装編集部係長　吉野　加代子　氏
日報ビジネス㈱ 包装編集部主任　福本　周子　氏

②8 月 26 日(金)　参加者 205 名
テーマ：「“リプトン” スタンドパウチをはじめとした包材の単一素材パッケージ化」

講　師：大日本印刷㈱ 研究開発・事業化推進センター　長谷川　駿行　氏

③9月28日(水)　参加者246名

テーマ：「食品接触材料規制の課題と企業の対応」

講　師：西包装専士事務所　代表　西　秀樹　氏

④10月20日(木)　参加者81名

テーマ：「貨物鉄道における定温コンテナ輸送の紹介と今後の可能性について」

講　師：日本貨物鉄道㈱ 鉄道ロジスティクス本部営業部副部長　中村　隆　氏

⑤11月29日(火)　参加者178名

テーマ：「パッケージデザインにおける感性評価」

講　師：千葉工業大学 創造工学部デザイン科学科教授　佐藤　弘喜　氏

⑥12月14日(水)　参加者172名

テーマ：「製品を安全に輸送するための輸送環境調査」

講　師：神栄テクノロジー㈱ システム事業推進部部長　川口　和晃　氏

⑦1月25日(水)　参加者300名

テーマ：「容器包装における海外の最新動向」

講　師：㈱パッケージング･ストラテジー･ジャパン 取締役社長　森　泰正　氏

⑧2月21日（火）　参加者239名

テーマ:「セブン＆アイグループのＳＤＧｓへの取組みGREEN CHALLENGE2050達成に向けて」

講　師：㈱セブン＆アイ･ホールディングス 執行役員経営推進本部
サステナビリティ推進部シニアオフィサー　釣流　まゆみ　氏

（２）生活者包装研究懇談会　【全例会中止】

3）セミナー・コース

（１）第２９回包装基礎コース　参加者36名

5月11日(水)～13日(金)　ハートンホテル北梅田

「包装概論」　(公社)日本包装技術協会 常務理事・事務局長　園山　洋一

「板紙・紙器」　大日本印刷㈱ Lifeデザイン事業部ＩＰＣ
製品・システム開発本部製品開発部第2課課長　辻本　隆亮　氏

「段ボール」　レンゴー㈱ 包装技術第一部大阪包装技術第一課担当部長　杉田　裕紀　氏

「金属缶」　東洋製罐㈱ 品質保証部茨木品質課課長　谷野　友哉　氏

「プラスチック容器」東洋製罐㈱ 品質保証部大阪品質課課長　西村　義明　氏

「ガラス容器」　日本山村硝子㈱ ガラスびんカンパニー
生産本部技術開発部型成形チームリーダー　大西　邦和　氏

「プラスチックフィルム」ユニチカ㈱ コーポレート統括部品質保証室長　中野　功　氏

「生活者包装技法」凸版印刷㈱ 生活･産業事業本部パッケージソリューション事業部
開発本部関西開発部開発戦略チーム課長　三宅　英信　氏

「輸送包装技法」　シャープ㈱ 品質・環境推進室品質推進部参事　成本　裕一　氏

（２）第１６回緩衝包装設計実践コース　参加者 12 名

10 月 21 日(金)　大阪産業技術研究所 和泉センター

講義①

1. 緩衝材についての基礎知識　2. 緩衝設計のための力学の基礎　3. 緩衝理論

（地独）大阪産業技術研究所 和泉センター製品信頼性研究部生活科学･輸送包装研究室長

津田　和城　氏

講義②（実習含む）

4. 発泡プラスチック緩衝材の設計手順　5. 付属品と緩衝材のレイアウト検討

6. グループ演習　7. 落下試験・衝撃値測定　8. 各種評価試験設備の見学

㈱高木包装 グローバルパッケージ Labo 所長　成本　裕一　氏

（３）第４９回段ボール包装設計実習コース　参加者 16 名

1 月 26 日(木)　ハートンホテル北梅田

1 月 27 日(金)　アイロップ㈱

講義「段ボール原紙・箱形式・特性・包装設計・包装貨物試験・製造　等」

レンゴー㈱　包装技術第一部大阪包装技術第一課担当課長　上原　英明　氏

実習（午前：個人作業　午後：グループ実習）

「寸法の算出・試作実習・試作品の圧縮試験および落下試験・講評と質疑応答」

アイロップ㈱　包装技術部参事　吉木　宏　氏

アイロップ㈱　包装技術部部長代理　脇田　明和　氏

＜交流事業＞　（公益目的事業　１）

１）会員フォーラム見学会

（１）パナソニック交野㈱　【延期】

（２）トヨタＬ＆Ｆカスタマーズセンター大阪　【延期】

第２．諸会議

１）関西支部役員会　5 月 25 日(水)　ホテル日航大阪

２）関西支部運営委員会

第１回　12 月 7 日(水)　アクセア心斎橋

第２回　3 月 8 日(水)　㈱資生堂 大阪茨木工場

３）生活者包装研究懇談会実行委員会

第１回　9 月 13 日(火)　Zoom ミーティング

第２回　1 月 17 日(火)　関西支部事務所

第３．行事・その他の活動

１）支部総会【交流会中止】　5 月 25 日(水)　ホテル日航大阪　参加者 56 名

２）第５７期包装管理士講座(大阪会場)合格証書授与式・祝賀会　【中止】

10 月 28 日(金)　ハートンホテル北梅田

３）新春会員交流会　1 月 17 日(火)　大阪倶楽部　【中止】

◎西日本支部

第１．事　業

１．研修、育成、交流事業、普及啓発

＜研修、育成事業＞　（公益目的事業　１）

１）包装管理士講座（福岡会場募集枠）

１．受講者・合格者

受講総数：28名（内訳：生活者13名 ・ 輸送15名）　合格者：28名

２．カリキュラム

①集合研修：日帰り（ロワジールホテル豊橋）

・輸送包装コース　6月2日(木)

・生活者包装コース　6月1日(水)

②オンライン講義

・統括教科　6月8日(水)

・材料教科　6月15日(水)～6月17日(金)

・専門教科

・輸送包装コース　6月28日(火)～7月1日(金)

・生活者包装コース　7月5日(火)～7月8日(金)

③オンライン筆記試験

・輸送包装コース／生活者包装コース　8月22日(月)

④合宿研修

・ケーススタディ・面接試験　（ロワジールホテル豊橋）　【中止】

・輸送包装コース　9月5日(月)～9月7日(水)

・生活者包装コース　8月31日(水)～9月2日(金)

・代替オンライン補講　（ケーススタディ）

・輸送包装コース	㋐木箱包装設計演習	9月26日(月)
	㋑段ボール包装設計演習	9月27日(火)
・生活者包装コース	㋒食品包装演習	9月26日(月)
	㋓医薬品包装演習	9月27日(火)
	㋔生活商品包装演習	9月27日(火)

２）研究会･講演会

（１）JPI WEBフォーラム　西日本支部主催

① 10月19日(水)　参加者129名

テーマ：「AI外観検査の最前線」

食品業界ならではの検査事情とロボット・排出機構連携による全自動化

講　師：㈱YEデジタル　デジタルプロダクト本部　AI開発　有吉　浩平　氏

講　師：㈱アイキューブデジタル　取締役 FA事業部事業部長　三原　秀一　氏

② 11月10日(木)　参加者206名

テーマ：「コンビニ中食容器包装の環境対応」

講　師：三菱商事パッケージング㈱
営業本部　パッケージング・テクニカル・アドバイザー　佐藤　久朗　氏

③ 11月21日(月)　参加者102名
テーマ：「個装箱のコンテナ輸送効率シミュレーション開発の取り組み」
講　師：セイコーエプソン㈱　P商業・産業企画設計部　服部　和俊　氏

④ 12月6日(火)　参加者122名
テーマ：「個装箱のコンテナ輸送効率シミュレーション開発の取り組み」
講　師：凸版印刷㈱　九州事業部
企画販促本部　販売促進部　生活系販促チーム　南　浩紀　氏

（2）輸送包装・生活者包装研究会
5月研究会　西鉄イン福岡ホテル　【中止】
JPI WEBフォーラム講演へ移行

（3）特別講演会
2022年度定時総会報告 特別講演会
8月　西鉄イン福岡ホテル　【中止】

（4）2022包装事例研究発表会・交流会
10月28日(金)　西鉄イン福岡ホテル　【中止】
来期延期開催

（5）2022日本パッケージングコンテスト入賞作品発表会
12月　西鉄イン福岡ホテル　【中止】

＜交流事業＞　（公益目的事業）

1）見学会（ＩＰＰ西日本支部・福岡倉庫協会と共催）
工場見学会・交流会　【中止】

第２．諸会議

1）西日本支部運営委員会

第１回	8月	西鉄イン福岡ホテル	【中止】
第２回	2月	個別訪問	

第３．行事・その他の活動

1）第57期包装管理士合格証書授与式・交流会
11月2日(水)　西鉄イン福岡ホテル　【中止】

2）官公庁、関連団体との協力連携活動
令和4年度第１回ふくおかプラスチック資源循環ネットワーク会議にてWEB講演
7月29日(金)「事業者・団体における取組事例紹介」
JPI紹介＆日本パッケージングコンテスト2021年受賞事例を事務局より紹介